

2008年度の授業評価アンケート調査について

東洋大学国際地域学部

2009年1月22日

自己点検評価委員会

国際地域学部では、2008年度春学期に授業評価アンケートを実施しました。

実施科目数は70科目(国際地域学科30、国際観光学科17、非常勤23)、回答した学生数は3,919人、回答率は約80%でした。みなさんのご協力に感謝します。

国際地域学部では、このアンケート結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

・集計結果

集計結果は図1、表1のとおりです。問1は「あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか」という質問であり、必修科目なども含まれているため学部・学科等の集計では対象外としています。授業ごとに評価結果を参照していますが、ここでは省略しました。

全体的に3.6～4.4の評価を得ている。評価が低かった項目は次の8つで、授業の改善に向けたさまざまな努力が今後とも必要です。

問7.授業内容に触発され次の意欲にむすびつきましたか(3.6)

問4.授業内容をよく理解できましたか(3.7)

問10.専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか(3.8)

問3.授業に意欲的に取り組みましたか(3.9)

問6.教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか(3.9)

問11.授業は要点をとらえた構成になっていましたか(3.9)

問14.学生の授業参加を促す努力をしていましたか(3.9)

問15.話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか(3.9)

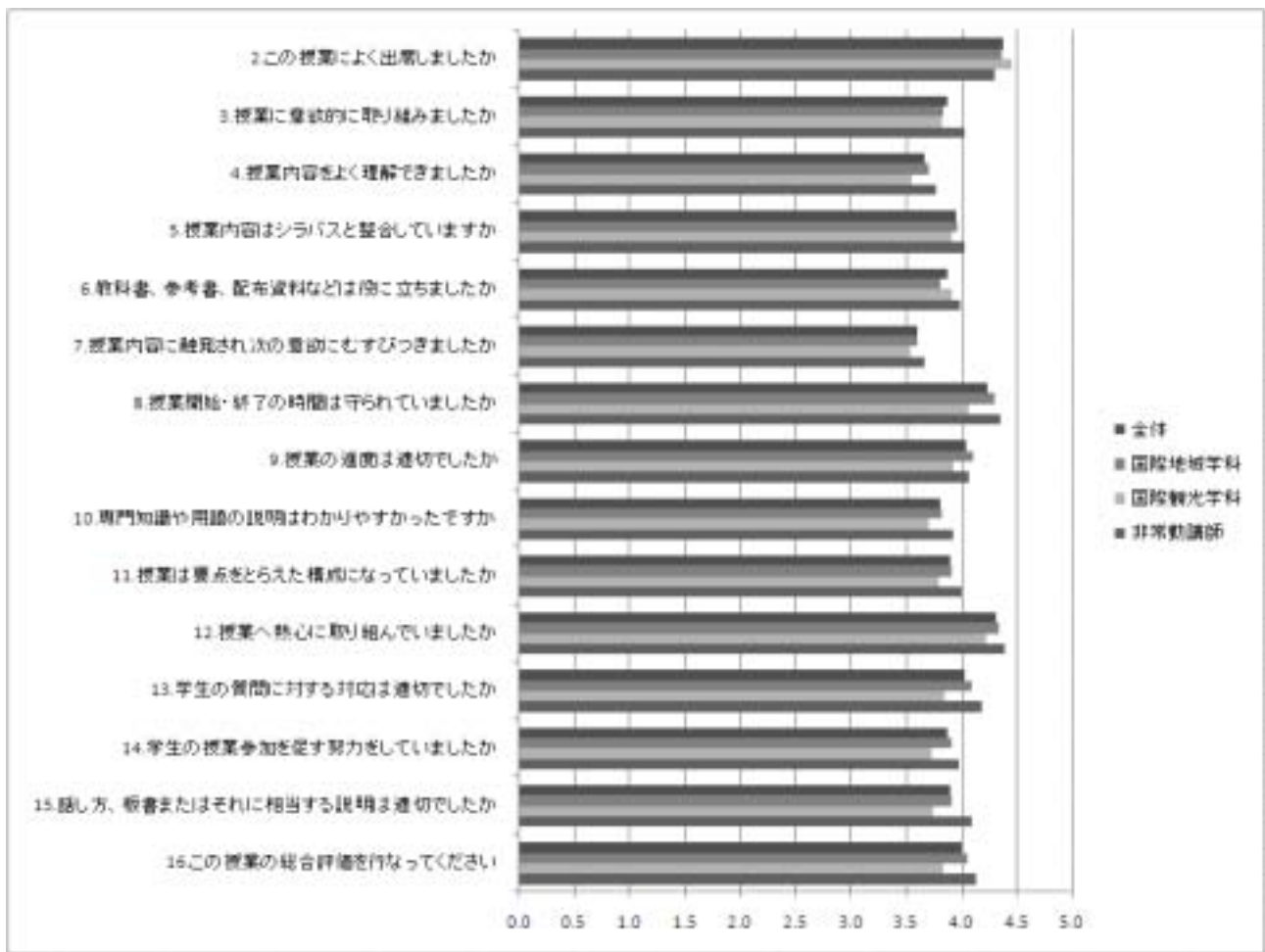
評価が高かった項目は次の3つで、そのうちの2つは学生の皆さんが積極的似授業に出席し、熱心に取り組んだ努力を反映しています。これらの項目は、さらに高い評価となるようにしていくことが大切です。

問2.この授業によく出席しましたか(4.4)

問12.授業へ熱心に取り組んでいましたか(4.3)

問8.授業開始・終了の時間は守られていましたか(4.2)

図1 授業評価アンケートの集計結果



資料：国際地域学部 2008 年度春学期授業評価アンケート結果から作成

表1 授業評価アンケートの集計結果

	設問	全体	国際地域学科	国際観光学科	非常勤講師
	1 あなたはこの講義をどのような基準で選びましたか				
I	2 この授業によく出席しましたか	4.4	4.4	4.5	4.3
	3 授業に意欲的に取り組みましたか	3.9	3.8	3.8	4.0
II	4 授業内容をよく理解できましたか	3.7	3.7	3.6	3.8
	5 授業内容はシラバスと整合していますか	4.0	4.0	3.9	4.0
	6 教科書、参考書、配布資料などは役に立ちましたか	3.9	3.8	3.9	4.0
	7 授業内容に触発され次の意欲にもすびつきましたか	3.6	3.6	3.5	3.7
III	8 授業開始・終了の時間は守られていましたか	4.2	4.3	4.1	4.4
	9 授業の進捗は適切でしたか	4.0	4.1	3.9	4.1
	10 専門知識や用語の説明はわかりやすかったですか	3.8	3.8	3.7	3.9
	11 授業は要点をとらえた構成になっていましたか	3.9	3.9	3.8	4.0
IV	12 授業へ熱心に取り組んでいましたか	4.3	4.3	4.2	4.4
	13 学生の質問に対する対応は適切でしたか	4.0	4.1	3.9	4.2
	14 学生の授業参加を促す努力をしていましたか	3.9	3.9	3.7	4.0
	15 話し方、板書またはそれに相当する説明は適切でしたか	3.9	3.9	3.7	4.1
V	16 この授業の総合評価を行ってください	4.0	4.1	3.8	4.1

資料：国際地域学部 2008 年度春学期授業評価アンケート結果から作成

・自由記述部分

さまざまな意見が自由記述には記されており、学生のみなさんの多様な意見がわかります。その中で、特徴的な点をまとめてみました。それぞれの授業での改善と学部・学科としての改善が重要です。

【国際地域学科】

国際地域学科の学生の自由記述による意見では、個別の授業に対して内容が分かりやすい、パワーポイントなどの情報機器の利用や配布資料が分かりやすいといった評価の声の一方で、それらの使い方に対する要望や専門用語の説明、板書・声の大きさに関する指摘が昨年度と同様になされている。授業中の私語が多い、教室を出ていく学生が気になるなど、学生への注意を増やしてほしいといったものも挙げられている。

【国際観光学科】

昨年同様、全体ではクラスサイズに関する記述が多く、現在のクラスサイズでは履修者数が多すぎると感じている学生や少人数の授業を望んでいる学生が多いことが分かった。また、今年度はシミュレーションなどを取り入れた実践的な授業の評価が高かったほか、フィールドワーク形式の授業を望む声が多く見受けられた。

・教員から学生へのコメント

皆さんからの自由記述などをもとに、それぞれの教員から学生のみなさんへのコメントを掲載します。学生のみなさんと教員の相互の意見交換のきっかけになれば幸いです。なお、名前の記載は教員本人の判断に拠っています。

【国際地域学科】

- ・資源はまず社会・経済に不可欠で役立っていると理解してほしい、その上で『資源を身近に感ずる』ようになれば、諸君が社会において活躍する基盤となることは間違いない。久留島守広
- ・基礎的概念をしっかり理解し、論理的に考えるくせをつけましょう。太田勝敏
- ・自分なりのしっかりとした教育哲学・倫理観を構築するためのお手伝いをしたいと思っておりますが、教員採用試験というハードルもあり、専門職にふさわしい最低限の専門的教養を身につけることもおろそかにするわけにはいきません。平野和弘
- ・宿題は毎回大変であったと思うが熱心に取り組んでいたのが好印象である。金子彰
- ・この授業では、参加型開発で使われる手法をワークショップ形式で実体験しながら参加型開発の基礎を学びました。英語のみの授業環境に最初戸惑っていた学生も、最後には英語でコミュニケーションをとることに自信がついた人が多かったようです。これを生かして、フィールドへ行った時も現地の人々の意見を吸収するよう心掛けて下さい。杉田映理
- ・大学に入り、「自主的な学習」というものに戸惑っていた面があるかと思いますが、4年間だけで完結するものではなく、一生続いていくものとして、楽しく、効率的に勉強するということを引き続き考え、取り組んでください。佐藤郁
- ・頂いたご意見をもとに、今後授業を改善していきたいと思えます。無記名希望
- ・ゲーム理論は経済・社会・環境問題など応用範囲が広く、またゲーム理論的な思考法を習得することができる。授業は系統だって実施するのでできるだけ出席することが好ましい。また、できるだけ身近な事例を参考に、演習を取り入れた授業を行いたい。吉永健治

・授業の良い点として『物事への新しい見方が生まれた点』と書いた学生がいました。君の言うとおりです。ミクロ経済学を学習することで、物事への新しい見方が手に入ります。今後君が学習を深める国際研究、環境、地域発展にミクロ経済学による新しい見方を使ってください。お願いします。久松佳彰

・公式の説明をもっと詳しく、という要望がありましたが、必修では公式の内容よりどのような公式があるか、それを Excel でどう計算するか実習することを主たる目標としています。公式の意味内容について興味が湧いた人は、2年以降選択の統計学を履修してみてください。芦野俊宏

・改善点は遠慮なく言ってほしい。英語上達の秘訣は「くり返しくり返しやることです」ので、予習・復習をしっかりとってほしい。宮内敦夫

・早すぎたり専門的すぎたりで分かりにくかったと感じている学生もいるので説明の仕方や質問への対応の仕方などをさらに工夫する必要はある。学生が発表した際に、相互評価シートを記入してもらったが、その内容はとても良かったので感謝している。池田誠

・この授業でよかった点について、「幅広く、さまざまな視点から環境問題を学べた」という意見を何名かの学生から頂きました。環境問題も含めた我々の社会の問題は、一つの視点からだけ見ていては多くのことを見落としてしまいます。いろいろな視点から幅広く物事を捉える習慣を是非身につけてください。荒巻俊也

・私語する学生には注意するよう心がけていたが、騒がしくて集中できないこともあった、もっと厳しく注意して欲しい、との意見もあった。教員側がさらに気を使う必要があるが、学生の自覚が第一です。また「生徒のやる気を出す努力がしきれていない」との意見もあったが、相手にしているのは「生徒」ではなく「学生」です。手取り・足取りの教育は、基本的に「生徒」を教える高校までの教育方針です。「学生」との自覚を十分、持って欲しい。松浦茂樹)

・英語でのコンピュータの授業は、英語サイトを読む力、説明を聴く力、パワーポイントでプレゼンテーションをして話す力、レポートを書く力など多様に自分の英語を伸ばせる良い機会です。これをきっかけに英語で行う他の専門科目の授業も挑戦してください。中挾知延子

【国際観光学科】

・地理情報システムで、GLOBALBASE をはじめとする GIS の操作が学べたようです。ネットワークの遅さが指摘されましたが、板倉キャンパス内の慢性的な問題が授業まで影響をおよぼしたようです。白山第2キャンパスではこのような LAN の遅さによるネットワーク利用に不便がないよう希望します。(地理情報システム)

・Keep coming to class. Keep doing all of the homework. Keep practicing English in class when we do communication activities. Keep creating fine English presentations. (観光英語)

・本講義は、計算や資料の分析等でなかなか大変かもしれませんが、しかし、授業で得た知識は、ホテル業だけでなく、他の産業でも応用できます。頑張ってください。(ホテル経営論)

以上のようなみなさんの意見を今後も取り入れながら、質の高い授業づくりを考えていきたいと思えます。授業評価アンケートが学生のみなさんと教員の相互の意見交換のきっかけになれば幸いです。

国際地域学部 自己点検・評価委員会

注記：本稿は本学他学部等のHPを参考に作成しておりますが、とりわけ文学部と生命科学部のHPを参考にさせて頂いておりますので、そのことを明記するとともに感謝申し上げます。